

めいけいのオープンキャンパスへ行こう!



名鉄小牧線「田原神社前」駅から無料スクールバスが利用できます!

“ランチ”を食べながら学生グループと楽しくおしゃべり!

オリジナルグッズをプレゼントします!

事前予約webで受付中!

7/23日 8/6日・19日 9/9日 11/12日 10/14日・15日

◆10:30~14:30(10:00 受付開始)
◆学部学科説明 / 体験授業 / 学食無料体験 / 総合相談コーナー など

総合相談コーナーですべてが解決!

剣道部 第55回東海私立大学剣道選手権大会で「個人優勝・準優勝」

3月12日(日)、名古屋市総合体育館で開催された「第55回東海私立大学剣道選手権大会」に剣道部が出場し、男子2年の部において法学部2年 高井田田さんが優勝、男子3年の部では、法学部3年 高井秀将さんが準優勝を果たしました。

女子3年の部では、人間生活科学部 教育保育学科3年 荒木麻邑さんが準々決勝では惜しくも破れましたが、ベスト8に輝きました。*学年は受賞当時

男子・女子バスケットボール部 第55回東海学生バスケットボール大会「準優勝」

男子・女子バスケットボール部は、5月3日(水・祝)~6日(土)パークアリーナ小牧で開催された「第55回東海学生バスケットボール大会」に出場。女子は、第2シード・第3シードを破り決勝戦へ、愛知学泉大学に敗れましたが準優勝に輝きました。男子も2年連続の決勝戦進出を果たし、名古屋学院大学に惜しくも敗れましたが、男女共に準優勝を手にしました。

個人賞には、男子の敢闘賞・リバウンド王に法学部4年 ジャニバブ・マリックスイラさん、アシスト王に経済学部2年 遠藤和希さん、3P王に法学部2年 高田隼暉さんが受賞。女子の敢闘賞は法学部2年 大橋璃菜さん、優秀選手賞には法学部2年 大橋璃菜さんが姉妹での受賞を果たしました。

2018年度入試日程

※選考方法については、「2018年度入学試験要項」にてご確認ください。

■大学 経済学部、経営学部、法学部、人間生活科学部(教育保育学科・管理栄養学科)

入試区分	出願期間(消印有効)	願書持ち込み受付日*	試験日	合格発表日
A O	I 期	2017年8月21日(月)~9月15日(金)	9月19日(火)	9月23日(土) 9月29日(金)

入試区分	出願期間(消印有効)	願書持ち込み受付日*	試験日	合格発表日
一般推薦	前期	2017年10月3日(火)~10月27日(金)	10月30日(月)	11月10日(金)

入試区分	出願期間(消印有効)	願書持ち込み受付日*	試験日	審査結果発表日	合格発表日
プラチナ奨学生選抜	2017年11月14日(火)~12月8日(金)	12月11日(月)	12月17日(日)	12月22日(金)	1月26日(金)

※その他、AO入試(Ⅱ~Ⅶ期)、一般推薦(後期)、一般入試、センター利用入試も実施します。*願書持ち込み受付日は、入試広報部に願書を持ち込みいただくと受付いたします。

■大学院 法学研究科/法学専攻(修士課程)・企業法学専攻(博士後期課程)、会計学研究科/会計学専攻(博士前期課程)・(博士後期課程) 人間生活科学部研究科/幼児保育学専攻(修士課程)・栄養管理栄養専攻(修士課程)

研究科	専攻	課程	入試区分	出願期間(消印有効)	試験日	合格発表日
法学	法学	修士	I 期	2017年8月23日(水)~9月4日(月)	9月24日(日)	9月29日(金)
				2017年8月30日(水)~9月7日(木)	9月23日(土)	9月29日(金)

※上記各研究科 専攻の入試には、推薦、一般、社会人、外国人留学生の入試区分があります。
※法学研究科(修士・博士後期課程)、会計学研究科(博士前期・後期課程)では、Ⅱ期試験(2月)、Ⅲ期試験(2月)も実施します。

学校法人市邨学園教育研究充実寄附金のお願いについて

学校法人市邨学園では、少子化の進行などにより今後より一層厳しさを増す私学を取り巻く環境を踏まえ、111年積み上げてまいりました教育・研究活動の益々の振興充実をはかるべく、「学校法人市邨学園教育研究充実寄附金」(任意)を募集いたしております。

趣旨にご賛同いただき、ご寄附をお申し出いただける場合、またご不明の点などありましたら、右記までご連絡いただきますようお願いいたします。なお、本法人は、特定公益増進法人の認定に加え、税額控除対象法人の認定を受けました。これにより、個人の方が本学へご寄附いただきますと、以前より多くの所得税の控除を受けることも可能となります。

寄附金に関する照会・連絡先
学校法人市邨学園 法人本部(寄附金担当)
TEL 052-853-0047(代表)

あなたの意見を
お聞かせください

「名経大通信」Vol.55について、
ご意見やご感想などございましたら、
入試広報部(右記連絡先)までお聞かせください。

MEIKEI

名経大通信 Vol.55
2017.6.30
名古屋経済大学
名古屋経済大学短期大学部



MEIKEI 名経大通信 Vol.55 | 〒484-8504 愛知県大山町久保1-1 TEL 0568-670511(代) http://www.nageyo-hu.ac.jp

就任の挨拶

激変する社会に対応し、グローバルに活躍する人材の養成をめざして

現在、日本では学習指導要領の改訂や「センター試験」の「共通試験」への改変など教育にかかわる大きな改革が進められています。大学においても教育改革が盛んに議論されています。これは、社会が必要とする人材像が従来とは大きく変わってきたからだと考えられます。

その1つの原因は、日本の世界における地位の変化にあります。日本近代化の出発点である明治維新においては、産業革命を終えた西欧諸国に倣い、追いつくことが目標でした。また、近代化の第二の画期とも言われる第二次世界大戦後の復興期には、アメリカに倣うことで経済発展を図ることができました。これらの時代には、教科書に書かれた「正解」をよく理解し、社会にうまく当てはめることができる「優等生」が求められる人材でした。ところが、1979年にジャパン・アズ・ナンバーワンと言われ、日本の経済力が世界一と評価されるようになると、倣うべき対象がなくなり、「優等生」では日本社会を牽引できなくなりました。つまり、新たなものを作り出す創造力が問われる時代になったのです。

さらに、近時の科学技術の急速な発展、とりわけ人工知能の急激な発達により、従来の職業の多くをロボットが代替することになると予想されるようになりました。このような時代にあつては、急速に変化する社会に柔軟に適応し、新しい仕事を作り出す勇氣と能力が必要となります。

また、科学技術の発展は生産規模を拡大し、国際分業を進め、企業活動のグローバル化を促進してきました。これから社会に出て活躍する学生には、海外出張や海外で生活することを厭わず、海外の人々とコミュニケーションができる能力が求められます。

名古屋経済大学ではこのような激変する社会においてグローバルに活躍できる人材を養成するためにさまざまな特徴ある取り組みをしています。本学が立地する犬山は、国宝犬山城を擁する城下町であり、その豊かな歴史と文化は研究・教育のためのフィールドとして非常に優れています。本学では、この地域をフィールドとしてさまざまなテーマに取り組み社会科学の課題を考える「体験型授業」を重視しています。また、早くから社会体験をするためにインターンシップを重視し、全員にその機会を提供しています。さらに、留学生を計画的に多く受け入れ、キャンパス内をグローバル化し、日本人学生と留学生が日常的に異文化交流できる環境を提供しています。

激変する社会に対応し、グローバルに活躍できる人材を養成することが、名古屋経済大学の教育目標です。



学長 佐分 晴夫

Profile

さぶりはるお
1970年名古屋大学法学部卒業。1975年同大学院法学研究科博士課程単位取得中退。1975年同大学法学部助手、1978年助教授、1984年金沢大学法学部助教授、1987年同大学教授を経て、1992～2012年名古屋大学法学部教授。この間、1998～2000年同大学評議員、2004～2006年同大学院法学研究科長、2006～2012年同大学副総長。
2012年名古屋経済大学副学長を経て、2017年4月より現職。国際法学会、日本国際経済法学会、世界法学会会員。

いっそう魅力ある大学となるために

創立111周年を迎える本学は、グローバル化する現代社会の要請に応じて大きく変化する時を迎えています。

いうまでもなく、大学の社会的な使命は、入学した学生の皆さんのさまざまな期待に応えて、時代に適合する良質の教育を提供し、有為な人材として社会に送り出すことにあります。本学の教職員は、それぞれの部署において、どうしたらその使命を達成し社会的責任を果たすことができるか、常に真剣に考え行動しています。私は、そうした本学教職員の考えや行動をとりまとめ、その目的の達成のために最大の効果を得られるようにし、そうすることにより、本学をいっそう魅力ある大学としたいと思います。

学生、保護者および本学有縁の皆様方のご指導、お力添えを心よりお願いいたします。



副学長 富岡 仁

Profile

とみおか まさし
1972年中央大学法学部卒業、1976年名古屋大学大学院法学研究科修士課程修了。1979年同大学院法学研究科博士課程単位取得退学。同大学法学部助手。1984年相愛大学文学部講師。1988年東北学院大学法学部助教授。1995年同大学教授。1994～1995年エジソンバラ大学客員教授。1998～2017年名古屋経済大学法学部教授。2017年4月より現職。国際法学会、世界法学会、国際経済法学会、国際人権法学会、国際法協会日本支部会員。

世の中を少しでも先取りした光景

突然ですが、皆さんの身の回りに外国人はどれくらいいらっしゃいますか。社会人なら職場や取引先で、高校生の皆さんならクラスメートや先輩後輩に、外国人が増えていませんか。最近では、仕事の中でも生活の中でも、諸外国とやりとりすることが普通の世の中になりつつあります。少し大げさに言えば、世の中を生き抜く上で、経済や文化などあらゆる面でバックボーンのある外国の人々とうまく連携するチカラが必要となるわけです。

名古屋経済大学ではすでに500名近い留学生が学んでおり、さまざまな側面から日本人と交流をしています。学生たちにとっては、授業と同じグループになった留学生と、授業後にはLINEでつながるのが日常です。逆に留学生は、日本人学生を通して、日本の社会を学んでいます。これからの世の中を少しでも先取りした光景が、すでに名古屋経済大学のキャンパスで日常になっているのです。市庁学園OB・OGの皆さん、これから大学進学を考える高校生の皆さん、ぜひ一度、名古屋経済大学のキャンパスにお越しください。お目にかかれまことを楽しみにしています。



副学長 中村 昭典

Profile

なかむら あきのり
1984年株式会社リクルート入社、採用ソリューション制作ディレクター。「とらば～ゆ」エリア版編集長などを歴任。1999年中都大学、2011年愛知産業大学、2013年名古屋経済大学を経て、2014年名古屋大学大学院工学研究科コミュニケーションデザイン室長。2016年プリティッシュコロンビア大学(カナダ)客員教授、同年名古屋経済大学副学長、経営学部教授に。日本広報学会、日本キャリアデザイン学会会員。

入学式 & 新入生歓迎行事

平成29年度 入学式

4月1日(土)、市庁記念体育館にて、名古屋経済大学および大学院の入学式を挙行了しました。心配していた天気も回復に向かい、キャンパスの桜も咲き始めた中、真新しいスーツを身に包んだ新入生の皆さんが大学生活の第一歩を踏み出しました。

開式の辞、大学歌の斉唱の後、告辞として佐分学長からは「多くの大学において学長は入学式における告辞の中で、新入生に向けて『今日からは高校時代と違って諸君を大人として扱うので責任を持って行動するように』と話しかけるでしょう。しかし、私はあえて申し上げますが、名古屋経済大学は新1年生を大人としては扱わず、4年間をかけて立派な大人に育てていくための第一歩と位置づけたいと思います」との言葉が贈られました。佐分学長の告辞に続き、来賓の犬山市教育長 滝誠氏と犬山商工会議所会頭 日比野良太郎氏から祝辞を頂戴しました。



新入生を代表し宣誓をする村井里帆さん

その後、新入生代表が「これからの大学生活において皆さんの人たちとの出会いを大切に、互いに切磋琢磨していくなかで幅広い教養や専門的な知識を培い、立派な社会人になれるよう踏み出していきたいです」と抱負を述べました。閉式後は、会場を移して学部・学科ごとに新入生歓迎会が開かれ、新入生は軽食を楽しみながらクラスメートや教員と交流を深めました。

フレッシュャーズセミナー / 法学部

犬山キャンパス 4/5(水)

OBによる講演会を実施しました

4月5日(水)、新入生約150名を対象に「フレッシュャーズセミナー」を開催しました。本イベントは、法学部学習支援室の学生スタッフが企画・運営を行い、5名の先輩(消防士・税理士・司法書士・保険会社支店長)に就職や資格、学生生活について講演していただきました。また、海外研修に参加した先輩からの報告もあり、現代社会で必要な知識や大学生活で身につけるべきこと、役に立ったことも聞くことができ、有意義な時間となりました。

法学部3年 市川力也さん 三重県立白子高等学校出身



OBによる講演「仕事について」



在学生から「ベトナム海外研修」の体験報告

フレッシュマンセミナー / 人間生活科学部 教育保育学科

犬山国際コースホステル・リトルワールド(犬山市) 4/21(金)・22(土)

仲間との交流を深めた2日間!

4月21日(金)・22日(土)、「フレッシュマンセミナー」が開催されました。最初は不安や緊張がありましたが、時間が経つにつれて今まであまり話す機会がなかった同じ学科の人たちと話すことができるようになりました。

1日目のレクリエーションや、2日目のリトルワールドでのフィールドワークもとても楽しむことができ、このセミナーを通してこれからの大学生活が楽しみになりました。

人間生活科学部 教育保育学科1年 小島和紗さん 愛知県立春日井西高等学校出身



夕食を囲んでの懇親会 打ち解けた様子の新入生たち



野上民族博物館 リトルワールドを探索



「沖縄県石垣島の家」観劇でほっこりタイム

美味しいランチに思わず「ピースサイン」

入学前教育

大学入門2017

大学での「友だちづくり」をはじめました

3月9日(木)・10日(金)、入学予定者を対象に「大学入門」を開催し、2日間で約300人の高校生・留學生が参加しました。1日目は全学共通のプログラム。午前は体験授業、午後は体育館でゲーム形式による「名経で友だち100人作ろう交流会」を開催し、さまざまな学部・学科の入学予定者が入り交じって数々のゲームを通じて新しい仲間との交流を楽しみました。2日目

CHECK PROGRAM

全学部・学科共通プログラム

政治学入門 「まちの名前を考える」
心理学入門 経済・経営・法学部「ストレスについて考えてみよう」
人間生活科学部「自己理解のための心理学」

経済・経営・法学部 体験型授業をのぞいてみよう ※下記から1つを選んでみよう。

- ① ビジネスゲームで自分の強みを見つけよう! ② 犬山の観光戦略を考える
- ③ モノづくりの「面白さ」を体験しよう! ④ 広大な敷地をめぐるアクティブツアー
- ⑤ 「人々の心をワクワクさせるブランド」とは何かについて共に考える
- ⑥ 「飛行機のほんものの設計図を見てみよう!」
今から81年前(昭和11年)の日本という、不安な時代を読み解きます
- ⑦ 留學生の国の料理を作ってみよう



人間ピンゴで友達づくり



ペーパータワー

隣よりもっと高く!でも、慎重にね



おやおや!? 不思議な実験にもう夢中

商業科DAY

大学での授業の面白さをひと足早く体験

3月7日(火)、毎年恒例の「商業科DAY」が開催され、高蔵高校商業科の1年生52名、2年生64名、引率の先生11名が本学を訪れました。1年生は、体験型授業「手づくり覚えよう、伝えよう」の模擬講義を受講。「ゆびあみ」の指導を受けてやりかたを覚え、附属市幼稚園で70名の園児たちに「ゆびあみ」を教えました。最初はどのようによいかかわらなかつた高校生たちもすぐに教えるコツをつかみ、園児たちも次々と編み上げ、教室のあちこちで園児と生徒たちの笑顔が弾けました。

一方、2年生は、「Oって何?」というテーマで8つのグループに分かれてワークショップを行いました。まず「O」をうたい文句にしている商品を観察し、そこからわかったことを発表。わからないことや気になることを調べ、グループごとにPowerPointを使ってプレゼンテーションの資料を作りました。

最後は1年生・2年生・引率の先生方全員が大教室に集まり、2年生が自分たちで作成した資料を使い、それぞれ個性を發揮したユニークなプレゼンテーションを行いました。まだ人前でプレゼンテーションを行ったことのない生徒たちにとっては貴重な経験になったようです。

(経営学部教授 谷川毅)



上手にできたね! 園児の笑顔に癒されて

ゆびあみで園児と交流



2年生「初めてのプレゼンテーション」に挑戦



「大学入門2017へようこそ!」

は学部・学科ごとに、独自のプログラムを実施。多くの在校生が準備段階から参加し、案内からプログラムの運営まで大活躍してくれました。参加した高校生たちからは、「友だちができた」「大学生活への不安が解消された」という声が多く寄せられました。

(経済学部特別教授 高田豊貴)

各学部学科に分かれて「はじめまして! どうぞよろしく!」

経済学部 「好奇心を「見える化」しよう」
経営学部 「トクホって何ですか?」
法学部 「裁判員制度について考えてみよう」
人間生活科学部 教育保育学科
「保育技術を体験してみよう1・2」「身体表現のウォーミング・アップ」
「小学校教諭について」「保育者は乳幼児期の子どもの育ちを支える重要な仕事」
人間生活科学部 管理栄養学科
「食と脳機能」「バランスのとれた食事とは? 献立作成のキホン」
「あなたの手きれいですか?」「卒業後の準備スタート」



名経 Hot News

ランチタイムにキッチンカー登場!



「ランチタイム」キッチンカーの登場に列を作る学生たち

今日は何にしようかな?

7号館前でランチタイムに行列ができています。キッチンカーの登場で名経のランチタイムに変化が起きています。カラフルなワゴンで提供されるのは、たこやき・ハンバーガー・ケバブ・タコス・オムライスなど、メニューは日替わりで登場。季節を感じながら屋外でのランチもまた楽しみ。出店スケジュール&メニューは、ホームページでチェックできます。



田県神社前駅「駅西広場」の完成

ワークショップに参加し、まちづくりを体験

「駅に近いところには地域の案内板がいるよ」「定番だけどロータリーの真ん中に時計があっても」もちろん、多目的トイレや駐輪場も「待ち合わせの場所やおしゃれなカフェもほしい。そして私たちの大学スクールバスの発着場も...」。2015年6月と9月に久保会館で開催されたワークショッ



きれいに整備されたスクールバスの発着場

プに始まり、学生たちは地域の皆さんと描いた構想が日ごと実現化されていく過程に触れ、まちづくりを身近に感じることができました。

ワークショップにお誘いいただいた小牧市の担当の皆さん、学生を快く迎え入れ

VOICE

完成した広場に、確かな達成感を感じた

地域の方々で行った、最初のワークショップから2年。将来、市役所への就職を目指すにあたり、「実際のまちづくりに携わってみたい」と思ったのが参加のきっかけでした。皆で話し合ったさまざまな要望が、現実のものとして日々少しずつ形になっていく光景を見ると、不思議な感覚を抱くとともに、確かな達成感を得ることができました。

法学部3年 奥川涼介さん 愛知県立一宮商業高等学校出身

2017年犬山観光学生大使

「犬山祭」で初お目見え

犬山市観光協会より、ベトナム人留學生2名を含む本学の学生5名が2017年度の「犬山観光学生大使」に任命されました。4月1日(土)・2日(日)に行われた犬山祭で、観光学生大使としてデビューしました。

今後1年を通して犬山の魅力を世界の人々に伝えるため、犬山市のさまざまなイベントに参加していく予定です。

人間生活科学部 教育保育学科4年 吉永ちひろさん 明德義塾高等学校(高知県)出身
経営学部3年 前田帆南さん 名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身
経営学部2年 岡澤淑未さん 名古屋経済大学市部高等学校(愛知県)出身
経営学部2年 グェン・ティ・カリンさん ベトナム人留學生
経営学部2年 ファン・ミン・ハンさん ベトナム人留學生



名乗りの車引「終英」をバックに記念撮影

「犬山市長と語ろう!」

体験型プロジェクト

～成果発表会～

若い発想で地域に活気を

1月17日(火)、犬山市国際観光センターにおいて体験型プロジェクト「成果発表会」が開催され、「犬山市長と語ろう!」と題して「観光戦略を考える」「外国人の友達をつくらう」のグループの代表者が、犬山市長へ直接プレゼンテーションを行いました。

それぞれの提案を受けた山田拓郎犬山市長からは、「これからのさまざまな観光資源を活用した広域的な展開は重要です。地層というこれまで見過ごされてきた分野を取り上げた提案は面白く、いかに付加価値を満足度に繋げていくかを考えていくかが重要です。これからも積極的に考え行動していただきたい」と講評をいただきました。



学生からの質問に答える山田市長



代表者によるプレゼンテーションの様子

「あいち学生観光まちづくりアワード」で優秀賞

体験型プロジェクトでの学びが身を結ぶ

3月15日(水)、愛知県主催の「あいち観光まちづくりフォーラム」が愛知大学名古屋キャンパスで開催されました。当日は、次代の観光振興を担う人材の育成や学生の取り組みを情報発信することで観光への機運の醸成を目的とする「あいち学生観光まちづくりアワード」も行われ、県内の学生から応募のあった観光振興策23件のうち最終選考に残った6件のプレゼンテー

ションや質疑応答などの審査を実施。その結果、経営学部1年坪井真実子(石川県立鹿西高等学校出身)さんの提案が優秀賞に選ばれました。

体験型プロジェクトの「犬山の観光戦略を考える」での学びをブラッシュアップして応募した「ジオラマジックin愛知」は、犬山の地層を観光資源に活用し「愛知県を地層観光の聖地にする」という斬新な提案です。



プレゼンテーションの様子



最終審査に残った学生とともに記念撮影に収まる坪井さん(前右列様)

犬山市長を表敬訪問

3月17日(金)、「あいち観光まちづくりフォーラム」での受賞報告のため、経営学部の坪井真実子さんが山田市長を表敬訪問しました。「1月に実施された「市長と語ろう!」での発表で、市長からいただいた講評を参考に、さらにプレゼンテーションをブラッシュアップすることができました」と、優秀賞の受賞を報告。山田市長は、「あえてマニアックなところに光を当てた発想が面白いですね。『犬山ジオガール(地層女子)』として、さらなる活躍を期待しています」とお祝いの言葉をかけられ、坪井さんは「今後の活動の励みとなります」と、感激していました。



笑顔の記念写真撮影

山田市長へ「あいち観光まちづくりフォーラム」優秀賞の報告



こまき産業フェスタ2017

学生が企画・運営するブース、大盛況

5月27日(土)・28日(日)、人間生活科学部 教育保育学科「保育実習指導」を履修している2・3年生の学生が、子どもたちとの関わり方を学ぶことを目的にパークアリーナ小牧を会場に開催された「こまき産業フェスタ2017」に参加しました。さすが実習を経験してきただけに、子どもたちがゲームで楽

しく遊べるよう自分たちでブースを企画。その場の状況に応じた工夫を積極的に行っていました。その後、お菓子をもらって喜び子どもたちを見て、学生たちは子どもと関わることの尊さを実感しているようでした。(人間生活科学部 教育保育学科准教授 塚本敏浩)



教育保育学科のブースの順番を待つ子どもたちの列



的当てゲームに夢中!



ゲームの景品(お菓子)を選ぶ

VOICE 会場スタッフとして初体験

地域政策チームのメンバーは、今回初めて会場スタッフとして「こまき産業フェスタ2017」に参加しました。

不安もありましたが、実行委員会の方から良い評価をいただくことができ、光栄に感じています。また、昨年までのように団体として出展した際とは異なる役回りだったので、今までよりも広い視野でこのイベントを見ることができました。

●経済学部学生研究会 地域政策チーム
経済学部3年 五味穂就さん

各ブースで
展示内容取材する学生たち
「出展者レポート」として、
産業フェスタのFacebookに
掲載されました。



扶桑町を知ろう!

「扶桑町の現状と課題」職員と学生の交流会

12月7日(水)、本学に扶桑町役場職員の方を招き、「扶桑町の現状と課題」について講演していただきました。そもそも扶桑町はどこにあるどのような町なのか、次に「役場」というのはどういう仕事を行い、職員の皆さんはどのような思いで働いているかについて話していただきました。隣接していながら犬山「市」とは異なる扶桑「町」。その実態と、公務員の方々の気持ちを知るよい機会となりました。待遇ばかりに目が行きがちな就職活動ですが、そこで働く人のやる気や思いを知って進路を検討することも重要ではないでしょうか。(経済学部教授 峯岸信哉)



扶桑町役場職員の方と学生がディスカッション

VOICE 有意義に感じた学習会

「行政は常に思考を働かせ、人々に幸せな生活を送ってもらえるように取り組まねばならない」。しかし、まちを活性化させ輝かせることが、時としてクレームとなって返ってくることもあるという実態を知ることができ、とても有意義な学習会でした。これからの行政に求められるのは、人と人が繋がりあえること、その上で意見を聞く機会を増やすことであると、学ぶことができました。

経済学部4年 伊藤 慎祐さん、名古屋経済大学高蔵高等学校(愛知県)出身
※参加当時



学校給食への取り組み

栄養教諭を目指して

学校における食育では、「学校給食」を生きた教材として活用することが求められています。そこで、学校給食の重要性を学ぶことを目的として、栄養教諭を目指す学生たちが犬山市教員委員会と連携し、学校給食の献立作成に取り組みました。学生たちが考えた献立は市内の給食として提供され、また、学生たちは給食を会食する体験を通して現場の栄養教諭のあり方を

学びました。さらに、活動の成果を犬山市学校食育推進会議で発表することもでき、栄養教諭の職務の魅力を感じることのできるすばらしい体験学習となりました。（人間生活科学部 管理栄養学科准教授 倉橋伸子）



犬山市学校食育推進会議での成果発表

VOICE 将来へとつながる貴重な体験

学校給食献立立案から小・中学校での試食会、さらに犬山市学校食育推進会議での報告会まで、あっという間に月日が経っていました。自分たちが立案した献立が数ヶ月で実現し、その給食を食べている小・中学生の反応を目の前で見ることができた時は、驚きと嬉しい気持ちでいっぱいになりました。この貴重な体験と充実感を糧に、栄養教諭になるために日々勉強していきたいです。

人間生活科学部 管理栄養学科3年 堀口祐弥さん



VOICE 生徒たちとの胸が熱くなる交流

今回「犬山の学校給食を考えよう」という企画で献立作成に取り組み、採用された献立を犬山中学校の生徒と会食する機会をいただきました。何度も試行錯誤し考えた献立が実際に提供され、おいしそうに食べている生徒たちを見て胸が熱くなりました。

今回の企画では多くの方に協力いただきました。その方たちの支えがあって実現することができ、感謝の気持ちでいっぱいです。

人間生活科学部 管理栄養学科3年 長岡侖奈さん
新潟県立三条商業高等学校出身

生徒の前に挨拶をする学生たち

「ワンだふる朝ごはん」作り!

朝食の大切さを伝えるための、楽しい時間

犬山市では、「元気の源、ワンだふる朝ごはん」をキャッチフレーズに市内の小中学生を対象にした「朝食クッキング」を開催しています。2016年度は、人間生活科学部 管理栄養学科の学生も参加して12月17日(土)、楽田児童センターで朝食の大切さを伝える栄養教育に続き、バランスのとれた具材は何だろう?と子どもたちが自分で具材を選んで「ロールおにぎり」を作り

ました。学校栄養職員の方には「かぼちゃ入りごま味噌汁」も調理していただき、みんなのお腹も大満足! 楽しいクッキング&会食になりました。

さらに1月14日(土)は、犬山市西児童センターで第2回の「朝食クッキング」にも参加しました。このように管理栄養士の方々と協力して行う体験学習を通じて学生の実践力を養成し、地域との交流も進めています。

VOICE 先輩たちと地域活動に参加 クイズを交えて楽しく「朝食の大切さ」を伝える

ゼミの仲間と参加することになった、小学生を対象にした「朝食クッキング」。クイズや栄養指導の企画を考える際に、先輩から「素材にはひらがなの表記やふりがなをつけよう」「授業で作った、カードが使えるね」と、学齢差のある子どもたちにも理解できる工夫をたくさん教えていただき、先輩の的確なアドバイスのおかげで朝食の大切さをしっかり伝えることができました。子どもたちの話をしっかり聞いて、ゆっくりと話をすることで、互いの理解も深まり、楽しい時間を過ごすことができました。

人間生活科学部 管理栄養学科2年 小駒春佳さん
名古屋経済大学市邨高等学校 (愛知県) 出身



ロールおにぎりの作り方を教える小駒さん(右上)



「朝食の大切さ」を伝える

楽しく覚えるクイズを交えて「朝食の大切さ」を伝える

平成28年度後期 小牧市大学連携市民講座

おいしく健康・たのしく調理～実践! おいしくエイジングケア～

小牧市民を対象とした平成28年度後期の「大学連携市民講座」は、「おいしく健康・たのしく調理～実践! おいしくエイジングケア～」をテーマに、全3回実施しました。いつまでも若々しくハツラツとした生活をおくるための栄養

について、講義と調理実習を通して学びました。今後も、地域の方と学生が互いに学び合える講座を企画して参ります。
(人間生活科学部 管理栄養学科准教授 上延麻耶)

第1回 10月1日(土) 10:00~13:00

「この頃、物忘れが多い?そんなあなたは必見!」
認知機能の低下予防を食事で解決できるひとつの方法をご提案

第2回 11月5日(土) 10:00~13:00

「加齢にともなうカラダの変化!低栄養予防や食べる機能に合わせた栄養と食事」
子ども、おじいちゃん、おばあちゃんも食欲増進、家族と一緒に食べられる調理の工夫をご提案

第3回 12月3日(土) 10:00~13:00

「アルコールの豆知識 知ればお酒は百薬の長」
カラダにうれしいお酒の楽しみ方「飲酒と栄養について」のご提案



レシピを見ながら食材の下ごしらえ

試食しながら「質疑応答」

VOICE 実習や就活での自信へと繋がる学び

平成27年度は、先輩方のサポート役としての参加でしたが、28年度は私たちが主体となって参加。全3回の講座に、積極性を持って取り組むことができました。受講生の皆さんの手際の良さに圧倒される場面もありました。最終学年ということもあり、就活へ積極的に取り組む良いきっかけにもなりました。

高校入学前からの希望である「栄養教諭」へ向け、今後もさまざまな経験を通して成長して行きたいと思っております。

人間生活科学部 管理栄養学科4年 岡田典子さん
名古屋経済大学高専高等学校 (愛知県) 出身

栄養も色合いも…
「パチパチ!!!」
おいしいお食事
出来上がりしました。



メイディッシュは「凍り豆腐とごんにやく肉巻きステーキ」

こまなびフェスティバル2017

学生生活最後の課外イベント

1月28(土)・29(日)、小牧市教育委員会後援による「こまなびフェスティバル2017～おとなと子どもの生涯学習のつどい～」に参加し、大学連携講座の紹介としてパネル展示を行いました。これまで大学連携講座に取り組んできた4年生が、学生生活最後の課外イベントとして参加しました。管理栄養士として、栄養に関する適切な情報発信をしていくことの大切さを実感し、いろいろと勉強になりました。管理栄養士国家試験勉強の追い込みで大変な時期ではありましたが、市民の皆さまからも刺激をいただきました。



すぐ目の前にある管理栄養士への自覚も芽生えたようです。

笑顔で来場者をお出迎え

平成29年度前期 ゆうゆう学級

わくわく どきどき 学びの楽しさ

高齢化時代にあって、一人ひとりが生きがいのある人生を送るために、高齢期の健康問題や現代社会に対応できる知識の習得、仲間づくりを目指す、小牧市では「ゆうゆう学級」を開講しています。

平成29年度は、人間生活科学部 管理栄養学科の上延准教授とゼミ生による「栄養講座と調理実習」を開講いたします。

ゆうゆう学級 開催のお知らせ!

- 味噌 ゆうゆう学級
8月10日(木) 10:00~13:00 ●名古屋経済大学 調理実習室
今日から実践! 若さを保つための食事のヒケツ
- 市民館 ゆうゆう学級
8月24日(木) 9:30~12:30 ●名古屋経済大学 調理実習室
健康的な生活を送ろう(2)
「栄養講座と調理実習」

いつまでも若々しくイキイキとした生活を送るための秘訣を栄養面から学びます。また、日常生活で実践できる「若さを保つための食事の工夫」について、調理実習を通して楽しく学びます。(上延)

経済学部学生研究室 地域政策チームの活動

野菜工場見学と土づくり講習

経済学部学生研究室 地域政策チームは、平成28年度名古屋市「大学等への消費者教育・啓発委託」を受けて、「食」をテーマに活動してきました。その一環として、2月6日(月)に野菜水耕プラントの国際的展開を目指す株式会社M式水耕研究所を訪問し、2月22日(水)にはNPO法人EMあいちによる自然農法講習に参加しました。

土をつかわない農業と土にこだわる農業、どちらも学生たちの視野と知識を広げる良い機会となりました。(経済学部准教授 佐野八重)

M式水耕研究所のイチゴの水耕栽培を見学 熱心にメモを取る学生たち



EMあいちの畑で無農薬・無化学肥料の「土づくり」を体験

誉高等学校の生徒を迎えて—高大連携大学見学会

2月14日(火)、「誉高等学校 高大連携大学見学会」を開催しました。

見学会では、1・2年生共通のプログラムとして佐々木学長(当時)が「大学で何を学ぶか」をテーマに講義を開講。その後、2年生は分野別の体験講義へ、1年生には学内施設見学を体験していただきました。

同校とは、今後も継続的な交流活動を行っていく予定です。



教育保育学科の体験講義 「なぜ算数を学ぶのか？」



全体講義「大学で何を学ぶか」

国際交流ふれあいフェスタ

「保育実習指導Ⅱ」の学びから生きた実践体験

1月22日(日)、小牧市公民館において、小牧市国際交流協会主催の「国際交流ふれあいフェスタ」が行われ、人間生活科学部 教育保育学科の学生たちも、「保育実習指導Ⅱ」授業の一環として参加させていただきました。また、授業ではなくボランティアとして参加した学生もいて、会場は大いに盛り上がりしました。

今回のイベントでは、世界の文化に触れながら子どもたちと関わることで、学生たちにとって貴重な経験になりました。



来場者プレゼント「折り紙」の準備作業



来場者で賑わう会場の様子

VOICE 国際交流の大切さを実感

私は今回初めての参加でしたが、外国の方や多くの文化に触れることができました。正月あそびコーナーを担当しましたが、「難しいなあ」と言いながらカルタやコマ回しに挑戦する外国の方や、子どもたちの笑顔に接することで、国際交流の大切さを実感しました。この経験を、将来保育の仕事に就いた時にもぜひ活かしていきたいです。

人間生活科学部 教育保育学科4年 渡邊詩乃さん 岐阜県立長良高等学校出身

第35回 犬山国際友好シティマラソン

ボランティアとして大会を全力サポート

「犬山国際友好シティマラソン」は、毎年全国から5,000人以上が出場するマラソン大会。大会前日の2月11日(土)と当日12日(日)、ラグビー部・男女バスケットボール部の学生が大会ボランティアとして参加しました。

前日は雪が降る中でコースの設定を、大会当日は受付・更衣室での案内やコース誘導、レース終了後にはゼッケンタグの回収から参加賞の配布まで、さまざまな場面で活躍！大会運営にはなくてはならない裏方の仕事で存在感をアピールしました。



VOICE 走る側から支える側へ

高校時代は駅伝部に所属し、いつも走る側だったので設営や運営にたくさんの人が関わっているということを今回のボランティアで初めて知りました。前日は激しい雪風でコーン運びなどの準備が大変でしたが、家族でマラソンに参加される方も多く、赤ちゃんからお年寄りまで幅広い年代に楽しんでいただくことができ、とても嬉しかったです。参加賞を渡す時に「ありがとう」と言ってもらえた時は、やりがいを感じることができました。

●ラグビー部マネージャー
短期大学部 保育科2年 池田智音さん
三重県立四日市商業高等学校出身

雪の中での設営は大変だけれど... 嬉しい出会いに感激!



川上直子さんの女子サッカー教室

女子サッカー部が強力アシスト

2月11日(土)、羽黒中央公園体育施設・犬山市体育館(エナジーサポートアリーナ)で、女子小学生を対象とした「〜ミスノビクトリ〜川上直子の女子サッカー教室」が開催されました。元なでしこジャパンの川上直子さんを招いて行われた教室では、女子サッカー部のメンバーが川上さんのアシスタントを務め、雪が舞うグラウンドで元気にボールを追いかける女子児童たちの交流を深めました。



基本練習から実践まで...元気にボールを追いかける未来のなでしこ

第5回 メイケイカップ

恒例の少年サッカー大会

1月22日(日)、「第5回 メイケイカップ」が開催され、犬山市内のスポーツ少年団に所属する6チームの小学4年生87名が出場しました。「メイケイカップ」は、本学と犬山商工会議所、犬山市で締結している産学官連携協定が推進するスポーツフレンドシップ事業



寒さにも負けず正々堂々と選手宣誓

で、今年で5回目を迎えました。当日も地域住民と交流を深めるなど、素晴らしい大会になりました。



卒業式・表彰

平成28年度 卒業証書・学位記授与式

3月20日(月)、名古屋経済大学・短期大学部、および大学院の卒業証書・学位授与式が執り行われ、学業において優秀な成績をおさめた学生および、スポーツ・文化活動における顕著な功績をおさめた学生を讃えて「学長賞」が授与されました。

佐々木学長(当時)は告辞として、「皆さんが”自分にふさわしい職業を探る”ことは大事なことです。しかし、自分にぴったりの仕事を探しても、減多にみつかるものではありません。実は、職業あるいは就職先は自分の選択より出会いが大きいのです。ですから出会った職業と、どのように付き合い、自分の生きがいを見出していかかが大事です。出会った職業との真摯な向き合いの先に、「これが自分の仕事だ」という究極の出会いがつかめるといいます。どうか皆さん、社会の主人公としてそれぞれの人生を堂々と生きてください」と述べました。また、犬山市長の山田拓郎氏、犬山商工会議所会頭の日比野良太郎氏からも心のこもった祝辞をいただきました。



平成28年度 2名に「博士号」を授与



平成28年度は、法学研究科の2名の院生が栄えある博士号を取得されました。シャイバザン・ゴア氏(佐分晴夫研究室・写真右)は、母国ウズベキスタンのWTO(世界貿易機構)への加盟交渉について研究した「Accession of Uzbekistan to WTO with the main focus to IPR: Comparative Review with Russia and China」により、高田尚彦氏(加藤徹研究室・写真左)は、「出資に関するフランス法との比較法的考察 一労働出資を中心として」により、博士(法学)の学位を取得されました。皆さんそれぞれ、さらなるご活躍を期待しています。

全国保育士養成協議会会長賞表彰

全国保育士養成協議会は、保育士養成会を会員とする団体で、毎年、特に成績が優秀であり、保育士として就職が決定した学生に「会長賞」が授与されます。平成28年度は、人間生活科学部 教育保育学科からは畔柳(くろやなぎ)晋太郎さん(岡崎市立保育所勤務・愛知県立西尾東高等学校出身)が、短期大学部 保育科からは、吉岡翔さん(犬山市立子ども未来園勤務・愛知県立丹羽高等学校出身)がそれぞれ表彰されました。



学長賞受賞者

- 【学業成績優秀者】
会計学研究科 会計学専攻(博士前期課程)
張 嘉桐さん
法学研究科 修士課程法学専攻
岡田 悦子さん
経済学部
木村 優さん
経営学部
梁 麗芳さん
法学部
鳥海 翔太さん
人間生活科学部 教育保育学科
佐野 杏奈さん
人間生活科学部 管理栄養学科
本多 愛美さん
短期大学部 保育科
池山 末希さん

- 【スポーツにおいて
顕著な功績があった学生・団体】
経済学部
堀 加奈さん
●剣道における各種大会での優秀な成績

- 男子バスケットボール部
●西日本学生バスケットボール選手権4位をはじめ3年連続のインカレ出場に加えベスト8、初の天皇杯出場

- 【文化活動において
顕著な功績があった学生・団体】
人間生活科学部 管理栄養学科
道家 記子さん
●家庭料理技能検定3級合格により「全国検定振興機構理事賞」を受賞のほか小牧市の学習センターなど子どもたちへの支援活動への貢献

- チーム保育科
●附属幼稚園や犬山市・小牧市など近隣の子どもたちへの交流や虫歯予防PR、シアターの上映入学前 IN キャンパス、フレッシュマンセミナー、名経祭、オープンキャンパスなどの企画・運営



式を終え後輩に囲まれ記念写真に収まる卒業生

全国栄養士養成施設協会会長賞表彰 日本フードスペシャリスト協会優秀賞

人間生活科学部 管理栄養学科では、卒業とともに栄養士免許が取得できます。また、試験に合格することでフードスペシャリストの資格も取得できます。卒業式では、優秀な成績をおさめた学生に対し、栄養士養成協議会会長賞やフードスペシャリスト優秀賞が授与されます。平成28年度の会長賞は、杉浦文也さん(愛知県立豊明高等学校出身)が、優秀賞には、大海祐佳さん(鹿島学園高等学校出身・茨城県)が受賞しました。今後それぞれの分野で活躍してされることを楽しみにしています。

平成28年度 大学顕彰表彰式

4月26日(水)、学業成績優秀者と、学術・文化・スポーツに優れた成績を残した個人・団体に対する大学顕彰表彰式が執り行われ、佐分学長より祝福の言葉が述べら

れ、来場者からはあたたかな拍手が送られました。また、たゆまぬ努力を讃えて奨学金が送られ、更なる活躍へ向けた期待を、両手でしっかりと受け止めていました。

【学業成績優秀者】

- 経済学部
4年 グェン・ニュー・クイン・アインさん
坂本 繁一さん
棚橋 雅哉さん
3年 矢郷 正輝さん
藤井 智之さん
吉本 一貴さん
2年 鳥居 優一郎さん
村瀬 健太さん
柳 帥さん
経営学部
4年 上田 俊茂さん
ファム・ティ・ヒエンさん
岡崎 未佑衣さん
3年 ド・ティ・ビック・リンさん
バク・ス・ビンさん
邵 夢南さん
2年 プイ・ティ・フォン・ランさん
鈴木 里佳さん
郭 鑫さん
法学部
4年 新沼 光さん
小西 一樹さん
梶澤 岳陽さん
3年 寺尾 忠蔵さん
夏目 和希さん
徐 強さん
2年 今井 鋭之さん
上原 弘也さん
田中 宏征さん

- 人間生活科学部 教育保育学科
4年 江原 歩美さん
竹川 夢さん
酒井 誠士郎さん
3年 松山 萌乃さん
宮田 祐希さん
鈴木 一輝さん
2年 藤山 拓哉さん
矢田 裕亮さん
柳川 愛里さん
人間生活科学部 管理栄養学科
4年 西 咲乃さん
上野 竜樹さん
高木 杏奈さん
3年 黒澤 砂代さん
中村 綾さん
西田 真緒さん
2年 中村 風香さん
小西 勇太朗さん
河村 彩里さん
短期大学部 保育科
2年 糸谷 文菜さん
田幸 真子さん
石田 萌華さん

【学術・文化に優れた実績を残した団体】

- 奨励賞
「児童文化同好会 いろは」
人間生活科学部 教育保育学科 2年・3年
オープンキャンパス、名経祭など学内・学外において地域の子どもたちための活動に貢献
「人間生活科学部 管理栄養学科 上延ゼミ」
人間生活科学部 管理栄養学科 4年
岡田 典子さん 伏見 洸さん
小林 純平さん 古山 弥生さん
中神 有菜さん 横山 龍一郎さん
西 咲乃さん 山本 健人さん
小牧市教育委員会生涯学習課と連携し「平成28年度後期大学連携講座」において講義と調理実習を企画・実施による地域社会貢献活動

【学術・文化に優れた実績を残した個人】

- 奨励賞
経営学部 4年
グェン・ティ・ジェウ・リンさん
留学生として地域や学内行事に積極的に参加し、さまざまな行事の活性化に貢献
法学部 4年
藤井 理沙さん
「日商簿記検定2級」の合格をはじめ「宅地建物取引士」資格取得を目指す学生を支援
経営学部 2年
坪井 真実子さん
小牧市教育委員会生涯学習課と連携し「平成28年度後期大学連携講座」において講義と調理実習を企画・実施による地域社会貢献活動



学長を囲んでごやがに記念写真」に収まる学生たち



あいち学生観光まちづくりアワードの優秀賞を受け「奨励賞」を受賞した坪井さん



「学業成績優秀者」として表彰された矢郷さん

保育科「2年間の学び」コンテスト

1月20日(金)から2月4日(土)まで、保育科の2年生が2年間の学びを表現した作品が図書館1階ロビーに展示されました。3回目となる今回は、個人5点、グループ7点の計12点がエントリーされ、その中から「最優秀賞」「優秀賞」が選ばれました。



▲個性が光るデザインとカラーで感動を呼んだ「ブライダルドレス」

チームの団結力で「最優秀賞」

光松ゼミではオリジナルのブライダルドレスを製作。10月の大学祭でファッションショーを開催し、披露しました。完成まではデザイン考察、型紙作製、布地の裁断、仮縫い、縫製、仕上げと、長い道のりです。全員初心者でしたが、お互いに励まし合いながら成長することができ、チームとしても団結することができました。(短期大学部 保育科教授 光松佐和子)

観客に感動を届け「優秀賞」

「はらべこあむし」の世界▼リアルに表現した小道具たち
観客はブラックシアターの『はらべこあむし』『スイミー』を出展しました。暗闇の中できれいに感動を届けることができるよう、休みを返上し試行錯誤して作り上げただけに、「きれいだ」「すごい」と言う声を聞いて、学生たちのそれまでの苦労も吹き飛んだようでした。
(短期大学部 保育科特任教授 堀美鈴)



幼稚園連携・地域連携

いちむらっこまつり2017「夢のステップ」をスローガンに

12月9日(金)、2年生科目「保育・教職実践演習」の一環で行う「いちむらっこまつり」を犬山市立楽田東子ども未来園、犬山市立楽田子ども未来園、名古屋経済大学附属市部幼稚園の3か所に分かれて実施しました。「夢のステップ」というスローガンのもと、1つの園を1グループ15人程度が担当し、企画運営を行いました。

各園から多大なるご協力をいただき、それぞれのグループ個性が光る2年間の学びの集大成にふさわしい活動となりました。

(短期大学部 保育科准教授 関谷みのぶ)

「笑顔を開けるクリスマス」
犬山市立楽田子ども未来園



「笑顔のために『ほんたのしどうはんばい』」
名古屋経済大学附属市部幼稚園

手遊びを楽しむ附属市部幼稚園の園児たち



「みんなが輝くいちむらっこ」犬山市立楽田東子ども未来園

給食見学体験会

給食への関心を持ち、食の楽しさを伝える

12月8日(木)、人間生活科学部 管理栄養学科2年の給食経営管理実習では、附属市部幼稚園の年長さんを対象にした「給食見学体験会」を実施しました。今回の給食のテーマは沖繩風給食！メニューはひじきのジュシー(混ぜごはん)、豆腐チャンプルー、ほうれん草の炒め物、コーンクリームスープ、サツマイモのパウンドケーキです。園児のみんなは厨房を見学し、

趣向を凝らしたボリュームたっぷり、栄養満点のできたての給食を「おいしい!」と、おかわりをする子も出るほど楽しそうに食べてくれていました。

このような取り組みを通して、子どもたちが食に関心を持ち、みんなで一緒に食事をする楽しさを体感して欲しいと思っています。

(人間生活科学部 管理栄養学科准教授 上延麻耶)



大量調理の準備もテキパキとこなします

「おいしくって、おかわりしちゃった!」と、園児の話に耳を傾ける

講演会・シンポジウム

名古屋経済大学オープンカレッジ2017

問い合わせ先: 地域連携センター TEL 0568-68-3282

犬山市民総合大学 敬道館と連携企画

名古屋経済大学オープンカレッジ2017 開催のお知らせ!

2016年より「犬山オープンカレッジ」は名称を変更し、「犬山市民総合大学 敬道館」の一つの学部講座として「名古屋経済大学オープンカレッジ」を

スタートさせました。市内唯一の大学として「地域に親しまれる大学づくり」を目指し、本学の魅力ある講座をさまざまな分野で開催いたします。

第1回

9月9日(土) 10:00~11:30 経営学部准教授 徐誠敏(ソソンミン)
●犬山国際観光センター(2F 多目的研修室1・2)

恋愛の三角関係がわかれば、マーケティングの本質がわかる
誰もが経験したことがありそうな身近な事例を通じ、マーケティングの本質に面白く、深く迫ります。

第2回

10月14日(土) 10:00~11:30 経済学部准教授 佐藤正之
●名古屋経済大学(7E2教室) ※名経祭(大学祭)同時開催

古くて新しい地理学
地図を見ながらモノが何故そこにあるのか、地理的思考で読み解いていきます。

第3回

10月15日(日) 10:00~11:30 法学部准教授 山田麻未
●名古屋経済大学(7E2教室) ※名経祭(大学祭)同時開催

「税法」へのご招待
「税法」という法律がどのようなものかについて簡単にお話しし、税法の面白さを伝えます。

第4回

11月11日(土) 10:00~11:30

人間生活科学部 教育保育学科准教授 田中秀佳
●犬山国際観光センター(2F 多目的研修室1・2)
教育とは何か —教育・子育ての理論と実際—
教育はそして学校はなぜ必要なのか、教育・子育ての原理やシステムのあり方を考えます。

名古屋経済大学オープンカレッジ2016 報告「翻訳よもやま話」

2016年9月17日(土) 10:00~11:30 経営学部教授 谷川毅
●犬山国際観光センター(2F 多目的研修室1・2)

今ではほとんど読まなくなっている外国の翻訳文学について、翻訳の黄金時代だった明治時代の面白話や、原作者と翻訳者の間に取り交わされたとんでもないエピソードなどを紹介し、また発表者本人が翻訳した時の苦労話を交えながら、翻訳の難しさ、楽しさ、面白さについて語りました。



第37回 消費者問題研究所「公開講演会」

「若者を消費者被害から守るには？」

プログラム

1. 若者の消費者トラブルの実態
国民生活センター 相談情報部 相談第2課主事 ●保足和之氏
2. 若者の消費行動と自立支援に向けた取組み
消費者庁 消費者調査課長 ●澤井景子氏
3. 若者の消費者被害防止・救済のあり方
内閣府消費者委員会 事務局長 ●黒木理恵氏
4. ジャーナリストから見た若者問題
中日新聞名古屋本社 生活部編集委員 ●白井康彦氏

7月1日(土)、本学名駅サテライトキャンパス10階ホールにて公開講演会を開催しました。今回は「若者を消費者被害から守るには？」をテーマに、保足和之氏(国民生活センター 相談情報部 相談第2課主事)、澤井景子氏(消費者庁 消費者調査課長)、黒木理恵氏(内閣府消費者委員会 事務局長)、白井康彦氏(中日新聞名古屋本社 生活部編集委員)を講師にお招きし、所長の田口義明教授がコーディネータを務めました。

4名の講師からは、それぞれの立場から現場感覚あふれる報告がなされ、続いてパネルディスカッションへ、多くの方々にご参加をいただき、若者を消費者被害から守るための方策について消費生活専門家の立場から活発な議論が交わされました。

犬山学研究センター創設へ

犬山の地層について「勉強会」を実施

5月22日(月)、名古屋大学の足立守特任教授を招いて「犬山とその周辺の地質的特質」と題した第1回勉強会が行われ、山田拓郎犬山市長をはじめ、市職員、本学の教職員と学生の約20名が参加しました。周辺地域をキャンパスとした体験型学習の実績により犬山市との繋がりを深めてきた本学は、商工会議所、NPO、他大学や研究機関とのネットワーク拡充へ向け、犬山学研究の拠点「犬山学研究センター」を設立。10月21日(土)に創立記念シンポジウムを開き、正式に活動を開始します。犬山城下町の歴史や地層など犬山の自然史、近世・近代の経営資料の収集などが研究項目として検討されており、今後は「学術都市犬山」のアピールへ向けた準備を進めていく予定です。

市内栗栖地区で見つかった「ファンモナイトの化石」
(名古屋大学博物館蔵)



海外の専門家にも注目されている「犬山周辺の地質的特質」を解説